

21日 火曜

列王 I

19:11 主は言われた。「外に出て、山の上で【主】の前に立て。」するとそのとき、【主】が通り過ぎた。【主】の前で激しい大風が山々を裂き、岩々を砕いた。しかし、風の中に【主】はおられなかった。風の後に地震が起こったが、地震の中にも【主】はおられなかった。

19:12 地震の後に火があったが、火の中にも【主】はおられなかった。しかし火の後に、かすかな細い声があった。

19:13 エリヤはこれを聞くと、すぐに外套で顔をおおい、外に出て洞穴の入り口に立った。すると声がして、こう言った。「エリヤよ、ここで何をしているのか。」

19:14 エリヤは答えた。「私は万軍の神、【主】に熱心に仕えました。しかし、イスラエルの子らはあなたとの契約を捨て、あなたの祭壇を壊し、あなたの預言者たちを剣で殺しました。ただ私だけが残りましたが、彼らは私のいのちを取ろうと狙っています。」

19:15 【主】は彼に言われた。「さあ、ダマスコの荒野へ帰って行け。そこに行き、ハザエルに油を注いで、アラムの王とせよ。」

19:16 また、ニムシの子エフーに油を注いで、イスラエルの王とせよ。また、アベル・メホラ出身のシャファテの子エリシャに油を注いで、あなたに代わる預言者とせよ。

19:17 ハザエルの剣を逃れる者をエフーが殺し、エフーの剣を逃れる者をエリシャが殺す。

19:18 しかし、わたしはイスラエルの中に七千人を残している。これらの者はみな、バアルに膝をかがめず、バアルに口づけしなかった者たちである。」



19:19 エリヤはそこを去って、シャファテの子エリシャを見つけた。エリシャは、十二くびきの牛を先に立て、その十二番目のくびきのそばで耕していた。エリヤが彼のところを通り過ぎるとき自分の外套を彼に掛けたので、

19:20 エリシャは牛を放って、エリヤの後を追いかけて言った。「私の父と母に口づけさせてください。それから、あなたに従って行きますから。」エリヤは彼に言った。「行って来なさい。私があるあなたに何をしたか。」

19:21 エリシャは引き返して、一くびきの牛を取り、それを殺して、牛の用具でその肉を調理し、人々に与えてそれを食べさせた。それから彼は立ってエリヤについて行き、彼に仕えた。

主に促されてほら穴の外にようやく立つことのできたエリヤは、これから起こることと彼がすべきことを聞きました。彼はまた同じように泣き言を繰り返すのですが、今は主の導きで「外に」出ているので、主からのビジョンを受け止めることができたのです。

主は彼を再び預言者としての使命に立たせて、これから起こることのために、エリシャを預言者とすることを命じました。エリシャは家族と別れの宴を設けることを願いましたが、これに対してエリヤは「私があるあなたに何をしたか。」と言います。この意味は諸説ありますが、いずれも「外套を彼（エリシャ）に掛け」て、跡継ぎであることを表したことを言っているのであって、その行為を厳粛に受け止めるようにとの意図です。

誰も自分だけで主の使命を完成されることはできませんから、後に続く人に託す必要がありますが、ただお願いして終りではなく、次の人をしっかりと育てることが大切です。また主からの召しがあるなら、きっぱりとこれまでのものに別れを

告げて、決心を持って歩み出しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

